



中学生が特産品を開発 14組による「商品化」をかけたプレゼン大会

1月29日(木)、城山中の2年生274人が宗像の特産品の開発プレゼンに挑戦します。市では地場産物を学校給食に積極的に活用し、農業体験の授業などを通して、多くの生産者が関わっています。生徒たちは、大豆やいちごなど魅力的な食がありながら、市内外に十分知られていない現状を学びました。

そのため、生徒が宗像の食の魅力を学び、全国に発信することを目的に、3カ年かけて総合的な学習「FMPP (Food of Munakata Promote Project)」を実施しています。

1年目は宗像の食文化などを学び、2年目となる今年度は、生徒が考案した商品を発表。協力事業者が生徒の投票を参考に商品化する特産品を決定します。3年目となる来年は、選ばれた商品を夏ごろに商品化し、販売・PRを行います。



《農業体験の様子》



《プレゼン作成の様子》

【商品開発プレゼンテーション大会 概要】

日時：1月29日(木) 14:15~15:15

場所：宗像市立城山中学校 体育館(宗像市陵巖寺1-13-1)

出席者：城山中学校2年生(274人)

審査員：みきふあーむ 三木雅裕氏、(株)道の駅むなかた 伊藤美幸氏 他

内容：・生徒(14班)による商品企画プレゼンテーション(1班3分程度)
・生徒、審査員による投票、講評(※商品化する特産品の決定は後日)

【補足】

FMPP学習では、生徒が宗像の農産物について調べ学習を行い、先日ラジオでも紹介された宗像市の農場「みきふあーむ」の協力による農業体験をとおして、食材を生産する大変さや価値を学んできました。今年度は宗像の特産品の商品開発に取り組み、選定された企画は、「みきふあーむ」が商品化します。

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市安全安心な学校づくり課 担当：秋葉 TEL：0940-36-1322